ゆったりのんびり
ふらっとコース 1

ふくしま散策 こでらんに

❶古関裕而モニュメント

昭和を代表する作曲家「古関裕而」は福島市の出身です。高校野球の大会歌「栄冠は君に輝く」や、阪神タイガースの「六甲おろし」、読売ジャイアンツの「闘魂こめて」、1964年東京五輪の「オリンピックマーチ」などのスポーツ関連から「長崎の鐘」や「モスラの歌」まで、幅広い楽曲が古関さんの手によるものです。

このモニュメントは、古関裕而生誕100年を記念して平成21年に設置されたものです。午前8時から午後8時まで1時間ごとに、古関メロディが流れます。

❷福島名物の看板

福島大学の学生が描いた福島名物がいっぱい。震災で制作が中断されたたものの商店街の後押しで完成。すべて当てられますか？

❸パセオ470（よんななまる）とまちなか彫刻

パセオ470は、平和通り交差点から万世町通り交差点に到る全長470mの南北の通り。以前の呼び名はスズラン通り。本当にスズランのような街燈が灯っていたのです。

平成元年、車がスピードを出せないよう緩やかに蛇行し、石を敷いてヨーロッパ風の洒落たコミュニティ通りとしてリニューアル、この名が付きました。

まちなか彫刻は、福島市が彫刻のあるまちづくり事業として昭和62年度にスタートさせ、平成5年度までに市内各所へ20余体の彫刻を設置しました。

まちなかに置かれた彫刻は、芸術作品には違いありませんが美術館の中にある彫刻との大きな違いは、誰でもがいつでも自由に見ること、しかも手で触ってみることができるという事です。

A まちなか彫刻
作品紹介は裏面にあります

ももりんも彫刻に触ってみたよ

❹福島稲荷神社

福島で初詣といえばこちら。多くの参拝客で賑わいます。ここを訪れたらぜひ手に入れてほしいのが、競馬場がある街らしく「競馬勝守り」と福島名産の桃にちなんだ魔除けの「桃守り」。どちらも全国的に大変珍しいものです。

桃守りと競馬勝守り

❺日本銀行福島支店

福島に日銀出張所ができたのは明治32年、東北では初めてのこと。当時、福島は全国有数の生糸産地として栄え、江戸や京都との取引も活発に行われるなど東北経済の中心地でした。営業開始日には、駅前から十数台の馬車に現金が積まれ運ばれたとか。写真の日銀福島支店は、大正2年に東京駅なども手掛けた辰野金吾氏により設計されたもので、レンガ造りで格調高い外見は、福島市民に長い間親しまれていました。

★旧日本銀行福島支店

❻福島の街なかを走っていたチンチン電車

かつて福島にはチンチン電車が走っていました。これは福島市を中心に伊達地方の養蚕が盛んだったことから、軌道で物資や人を運ぶ必要があったからです。生活に欠かせない地域住民の足として活躍しましたが、高度経済成長期のモータリゼーションの進行により、昭和46年4月に全線廃止となりました。現在、レンガ通りの歩道には、当時の面影を残す絵入りタイルが嵌め込まれています

★最後を飾った花電車

❼まちなか広場

この広場、時代時代で役割を変えてきました。江戸時代には大名が参勤交代で宿泊する本陣が置かれ、明治20年には信夫警察署（のちの福島警察署）。昭和2年には福島ビルヂング（通称福ビル）が建ち、県下初のエレベーターが設置され見学者が引きも切らなかったとか。その後、一時的にスーパーができましたが、今では市民がイベントなどで活用する広場となったのです。

★福ビル（昭和6年）